

21.9.5 聖日-RT

申 34:1-12 **モーセの人生の準備 3 段階** - メモ

編集 設計 デザイン

序 - 必ず知るべきこと	本	結
1. 精神病 - 古くからのこと	1. 40年王宮 - 勉強	1. 私 「空前絶後」
1) 暗やみの中で私 (創 3)	1) 答え×(基礎)	1) 10 奇跡
2) " 私のこと (創 6)	2) Elite	2) 荒野奇跡
3) " 成功 (創 11)	3) 世界文化	3) 次世代奇跡
2. エジプト、イスラエル		2. 教会
3. モーセ - 出 2:1-10		3. 職業



申命記 34:1-12

- 01 モーセはモアブの草原からネボ山、エリコに向かい合わせのピスガの頂に登った。主は、彼に次の全地方を見せられた。ギルアデをダンまで、
- 02 ナフタリの全土、エフライムとマナセの地、ユダの全土を西の海まで、
- 03 ネゲブと低地、すなわち、なつめやしの町エリコの谷をツォアルまで。
- 04 そして主は彼に仰せられた。「わたしが、アブラハム、イサク、ヤコブに、『あなたの子孫に与えよう』と言って誓った地はこれである。わたしはこれをあなたの目に見せたが、あなたはそこへ渡って行くことはできない。」
- 05 こうして、主の命令によって、主のしもべモーセは、モアブの地のその所で死んだ。
- 06 主は彼をベテ・ペオルの近くのモアブの地の谷に葬られたが、今日に至るまで、その墓を知った者はいない。
- 07 モーセが死んだときは百二十歳であったが、彼の目はかすまず、気力も衰えていなかった。
- 08 イスラエル人はモアブの草原で、三十日間、モーセのために泣き悲しんだ。そしてモーセのために泣き悲しむ喪の期間は終わった。
- 09 ヌンの子ヨシュアは、知恵の霊に満たされていた。モーセが彼の上に、かつて、その手を置いたからである。イスラエル人は彼に聞き従い、主がモーセに命じられたとおりに行なった。
- 10 モーセのような預言者は、もう再びイスラエルには起こらなかった。彼を主は、顔と顔とを合わせて選び出された。
- 11 それは主が彼をエジプトの地に遣わし、パロとそのすべての家臣たち、およびその全土に対して、あらゆるしるしと不思議を行なわせるためであり、
- 12 また、モーセが、イスラエルのすべての人々の目の前で、力強い権威と、恐るべき威力とをことごとくふるう

ためであった。

要約

モーセの人生の準備3段階は Remnant の人生の準備3段階として見れば良い。ここで大人たちがよく知らずにいることがある。

□序論_必ず知らなければならないこと

1. 多くの人々が精神病に苦しめられている—古くからのこと

- 1) 暗やみの中で「私」を発見(創3章)
- 2) 暗やみの中で「私のこと」を見つける(創6章)
- 3) 暗やみの中で「成功」しようとする(創11章)

△サタンが悪い霊を働かせて人々を崩れさせるのだ。

2. エジプトもイスラエルも知らずにいるのでわざわいが臨むのだ

△それゆえ、ヨーロッパ、強大国福音化が必要だ。

3. モーセはなぜ用いられたのか

△モーセはすでに幼いときに、出2:1-10節の祝福を受けた。契約と福音が何か知っていたのだ。

これを大人たちはよく知らないなので、ここに陥った人々を救い出すために幼いモーセを呼ばれたのだ。

□本論_モーセの人生の準備3段階

1. 王宮40年—勉強しなければならない理由

- 1) 勉強は必要だが答えではなくて「基礎」だ
- 2) Elite 教育を受けた
- 3) 世界文化を学習

△学校に通うときに必ず発見すべきことがある:「神様がくださった私、私のこと、私の現場」



2. ミデヤン40年—霊的準備(本当の答えはここから出てくる)

- 1) 創世記記録—幼いときに母親から聞いた福音を持って
- 2) 家系の契約を見つける
- 3) 個人の契約を見つける

△無応答の時が「最も重要な時」だ。Remnant の時は答えを受ける時ではない。



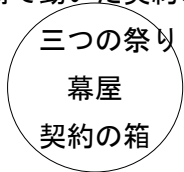
3. 荒野40年—使命の道

- 1) 10の奇跡を起こす—私たちが受ける答え
- 2) 荒野の奇跡を起こす
- 3) 次世代を育てる奇跡を起こす—ヨシュアとカレブ

△とてもすばらしい背景である三つの祭りの祝福(過越祭-救い、五旬節-神の国、仮庵祭-天国の背景)

荒野の道を行く間に幕屋の祝福

幕屋の前で動いた契約の箱を通して答えを味わうようになる



□結論_Remnant の単語- 「空前絶後」、空前絶後の答えを見つけ出さない

1. 私にだけくださる空前絶後の答え
2. 教会の働きを通して与えられる空前絶後の答え
3. 学業、職業、産業に与えられる空前絶後の答え

△Remnant のミッション-私の人生の準備 3 段階を見つけ出さない

1. 一週間祈りながら思い浮かぶことをメモしなさい(祈りの手帳または、人生ノート)
2. 空前絶後の答えがくる
3. 起きる三つこと-私のことを見つける編集、神様の計画が見える設計、デザイン

△これは簡単なことなのに、人々があまりしない。もしかして失敗しているならば前に間違ったことをはやく変えれば良い。今日から始めなさい!私の学業と霊的な使命を編集、設計、デザインしなさい。

<全文打ち出し翻訳>

Remnant の人生の準備 3 段階だと見てもよいでしょう。大人たちがよく知らずにいること、みなさんにあります。みなさんが先に必ず知らなければなりません。

□序論_必ず知らなければならないこと

1. 精神病-古くからのこと サタン(悪霊)

今現在、全世界的に多くの病気がありますが、精神病が一番たくさんあります。これがどうして生じるのかをみなさんが知っていなければなりません。これがとても古くからのことなのです。

- 1) 暗やみの中で私(創 3)

暗やみの中で私を発見したからです。これを知らずにいます。これが創世記 3 章です。

- 2) 暗やみの中で私のこと(創 6 章)

そして、暗やみの中で私のことを見つけました。それが創世記 6 章です。

- 3) 暗やみの中で成功(創 11 枚)

また、いまは暗やみの中で成功をしようとするのです。それが創世記 11 章、バベルの塔、崩れます。この部分よく知らずにいます。

2. エジプト、イスラエル

そして、これが今、エジプトがよく知らずにいます。みなさんこれを先に、はやく知らなければなりません。それゆえ、ヨーロッパや強大国福音化をしようとしているのです。エジプトがこれを知らずにいて、ひどいわざわいのようなことが臨むようになります。話す必要もなく、なぜなら、話しても誤解するでしょう。聞き取れません。ここから始まったので、多くの精神的な病気がくるしかありません。そして、さらにイスラエルの人々もよく知らずにいます。

3. モーセ-出 2:1-10

ところで、モーセはなぜ用いられたのでしょうか。みなさんの年齢のときに、すでに出エジプト記 2 章 1 節から 10 節、この祝福を受けていたのです。それゆえ、契約が何か、福音が何かを、すでに幼いときに知っていました。この差異点です。

ですから、大人たちが本当にできなかつたのです。知らずにいて、年を取つたのです。ですから、それから、このような病気(序論 1)がどんどん来ます。全世界にこのようなことが(序論 1)このように多くなるのです。これからさらに多くなるでしょう。みなさんは知っていなければなりません。この部分(序論 1)のためにそうです。簡単に話せば、この部分(序論 1)で、サタンが悪い霊を働かせるのです。それで、どんどん崩れるのです。エジプトも知らずに、イスラエルも知りません。政治家たちも知らずにいます。それゆえ、神様がこの部分(序論 2)を救い出すために幼いモーセを呼ばれたのです。必ず記憶しなければなりません。

□本論

さあ、するとみなさんに起こるべき答え 3 段階を見なければなりません。

1. 40 年王宮—勉強

モーセが 40 年間、王宮にいました。簡単に話せば勉強をしたのです。このことが最初の段階です。

1) 答え x (基礎)

みなさんが勉強をしなければならない理由が何かというと、この勉強は実際には、答えではありません。みなさんが勉強すると、みな成功するのではありません。当然すべきです。これが基礎ですから。これが基礎です。特に Remnant は必ず覚えておかなければなりません。みなさんが勉強をするのは、答えではありません。基礎です。ですから、当然、神様が 40 年間、エジプトの王宮に置かれたのです。

2) Elite

さあ、この王宮でエリート教育を受けました。

3) 世界文化

王宮で多くの世界の文化を学ぶようになりました。必要です。ところが、これは答えではないのです。みなさんが学校で勉強するのが答えではありません。しかし、基礎的なことで、必ずすべきです。それゆえ、するのです。これをあらかじめ知っている人は、みな成功しました。

神様が造られた私/神様がくださった私のこと/神様がくださった私の現場

それゆえ、みなさんは今、学校に通う間に、すでに、はやく見つけ出さなければなりません。神様がくださった私、はやく見つけ出さなければなりません。今から祈れば見つけ出すようになります。神様がくださった私のこと、神様がくださった私の現場、これ発見すれば無条件に成功します。これが発見できなければ、留学まで行ってもなにもありません。私のことを見つかなかつたのに、何になるでしょう。そうでしょう。それゆえ、留学生の中で成功する確率がおよそ 10% くらいしかありません。みなさんが踏まなければならない段階ということです。

2. ミデヤン 40 年—霊的準備

神様はまた、ミデヤンで 40 年間いるようにされました。何でしょうか。霊的準備です。みなさんに必ず必要なのです。

1) 創世記

ミデヤンで創世記を記録しました。創世記の中にすばらしい話があります。それを記録したのです。幼いときに母親に聞いた福音は、必ずこのようになります。みなさんに答えが来ないことを苦しいと考える必要はありません。

2) 家系契約

答えがないのではなくて、創世記を記録して、そこで家系の契約をしっかりと握るべきです。

3) 個人契約

ここで個人契約をみな見つけ出すのです。Remnant は記憶しなければなりません。

無応答

答えがないとき、とても重要な時です。みなさん、今は答え受ける時ではないと見てもかまいません。答えがな

くても大丈夫です。勉強、答えではないのですが、基礎だから整えて、それから霊的準備します。

3. 荒野 40 年—使命

いよいよモーセは荒野 40 年に行くようになります。いよいよ、もう使命の道を歩むようになりました。みなさんもこのようになるでしょう。

1) 10 の奇跡

さあ、ここに荒野の道に行く間に、みなさんご存じのように、ひとまず一番最初に 10 の奇跡が起こりました。詳しく見なければならぬのは、みなさんが受ける答えです。

2) 荒野の奇跡

さあ、それからになんてでしょうか。荒野の奇跡が起こりました。それだけではありません。

3) 次世代を育てる奇跡

ヨシュア、カレブのような次世代を育てる奇跡も起こしました。

これが 40 年の荒野の道の歩みです。

三つの祭り/幕屋/契約の箱

さあ、ここで何の祝福を与えられたのでしょうか。とても大きな背景、三つの祭り。過越祭、救い。必ず記憶しなければなりません。五旬節、みなさんがいるすべての所に神の国が臨むのです。仮庵祭、天国の背景。みなさん行く所ごとに、これが聖霊の働きが起きて、この答えがとても重要でしょう。みなさんが今、味わう答えです。荒野の道を歩む間に。

幕屋。しかもなんですか。この幕屋が動くのに常に先に動くのが何でしょうか。契約の箱。一つも落としてはいけません。

みなさんが勉強する理由、勉強だけではだめな理由、霊的準備すべきです。この二つができれば、みなさんは必ず荒野 40 年の使命を果たすようになります。

□結論__空前絶後

これ(本論)をしながら見つけ出してください。みなさんは空前絶後の答えを受けべき人です。今日の本文にそう言われています。特に 10 節を見てください。「モーセのような預言者は、もう再びイスラエルには起こらなかった」必ず記憶しなければなりません。みなさんの単語です。みなさんが学校で勉強する理由は答えではありません。基礎を築くのです。本当の答えはここで(本論 2)出てくるのです。霊的準備から出てきます。みなさんが、答えが出て、これから世の中を歩いていく答えはこれ(本論 3)です。この二つだけであれば、みなさんが行く道に必ずこのこと(本論 3)が起きるでしょう。

大人たちが、これが起こらなかった理由が何かというと、幼い時にこの答え(本論)を出せなかったからです。それゆえ、神様が幼い Remnant 呼んで、この答え(本論)だけ出てきてしまえば、無条件にこれ(本論 3)がなされるのですが、空前絶後の答え。

1. 私

三つ、私に対する空前絶後の答え。必ずあります。みなさんにだけ与えられる空前絶後の答えがあります。

2. 教会の働き

これから、みなさんが教会の働きで、みなさんを通して空前絶後の答えが起こるでしょう。

3. 職業

いよいよなんてでしょうか。みなさんの学業、みなさんの職業、みなさんの産業を持って神様は空前絶後の答えをくださるでしょう。確実です。これがみなさんが受ける答えなので、より一層、確かに握らなければなりません。

今から Remnant ほどのように勉強しなければならないのでしょうか。私のこと、神様がくださった私、私のこと、私の現場を見つける勉強をするのです。分かるでしょう。これを見つけないで、死ぬほど勉強してみても、それは損です。必ずあります。そして、二つ目のことです。みなさんが無条件に答えを受けようとせずに、祈りの霊的準備の中に入りなさい。今は答えを受ける時ではありません。なぜなら、みなさんに大きいことが残っているからです。何が残っていますか。これ(本論 3)が残っています。

これがモーセを通してみなさんが、学ばなければならないことです。そして、空前絶後の答えの人。Remnant が握らなければなりません。

メモ

編集/設計/デザイン

すると、今日、みなさんは短く「この 3 段階を私はどのようにするのか」今日すべて答えを見つけようとせずに、みなさんがこれを頭の中にしっかりと刻印して、一週間考えてみるのです。それがものすごい祈りになります。すると、何か思い浮かぶことがあって、浮かぶことがあります。さあ、思い浮かぶことをメモしてください。なにか、どこでも良いのですが、祈りの手帳に書くのが一番良いでしょう。そして、それを集めるのです。そうでなければ、みなさんの人生の重要なノートがあるとしたら、そこにしっかりとメモをするのです。必ずそうしてみてください。するとそこに、結局は、これ(結論)がきます。空前絶後の答えがきます。

ですから、みなさんがこのメモを継続していると三つのことが起こるでしょう。編集が続けて起こります。これがとても重要です。ああ、私のことを見つけたということです。ずっと編集します。すると神様の計画が見えるでしょう。設計、デザインを継続するのです。これが方法です。さあ、時間があまりないですから。

人々が不思議に、簡単なことなのに、しないのです。私は伝道しなければならないと、それで何かたくさん急にしないで、引き続き伝道に関する本をずっと見たのです。そうしていたら、神様のみことばがぴったり確認できるでしょう、編集。みことばがぴったり整理されるから計画が見えます、設計。デザインです。

もしかして、「私はとても今、失敗しているようだ」このような人々は心配しないでください。前のことをとても間違っていたのです。ですから、前に間違ったことを、はやくこのように(本論、結論)変えれば良いのです。「私の家はなぜこうなのだろう」心配することはありません。みなさんの責任ではなくて、みなさんに見なさいということです。見て何をやるのでしょうか。編集、設計、デザイン。

ところが、人々が本当によく聞き取れないことがあります。とても簡単なことなのですが。私は 87 年度にここに来ました。88 年度に、今でもまだあります。その方が生きておられるかわかりませんが、チョリヤン柔道館の館長がおられました。今でも通り過ぎるときに見ると、チョリヤン柔道館です。その 2 階が柔道の道場です。建物なのですが、多分 3 階はその方の家のようなものでした。1 階は何かに貸してありました。毎日、明け方に、その方と私が運動をしたのです。この方が私を見ていて、ちょっと感じたことがあったのか、自分が読んだ本を私に贈り物でくれました。良いものだと言いながら。見たら《呼吸健康法》でした。それで終わりです。その時から、呼吸についての本をずっと買いました。30 年。それを、編集、設計、デザイン。

私はそれで、今、講義することができます。病んでいる人、本当に私の話を聞けば、いやすことができるという確信があります。本当に祈るならば、いやすことができます。その証拠に、肉的な証拠ですが、私はどんなに今小さい字、これが全部見えます。そして、見てください。髪の毛、日がたつにつれ真っ黒になるでしょう。本物です。そして、すべての面であるでしょう、これが祈りの中にずっと入ります。

やってみてください。今日から始めなさいということです。私の学業と霊的な使命をどのようにするのですか。これを編集、設計、デザインしなさいということです。してみれば、とても楽しいのに、それをしないのです。みなさんが受ける答え、空前絶後のこと。

祈り

祈ります。万王の王である主イエス・キリストの恵みと私たちの神様の大きな愛と、聖霊の働きが、空前絶後

の主役になる Remnant の上に、今からのち永遠まで、いつもともにありますように。アーメン